

さたけ散歩

第13号

◇次号予告◇

次回のテーマは「ゴジラ生誕60年 有楽町」

東京都千代田区内幸町を特集します。



サザエさんに見える町 桜新町



サザエさん通り (東京都世田谷区)



サザエ タラオ マスオ

昭和時代、現在の東京都世田谷区桜新町(さくらしんまち)一丁目には漫画「サザエさん」の原作者・長谷川町子(はせがわまちこ)が居住していました。東急田園都市線桜新町駅から長谷川町子美術館に至る商店街通りは「サザエさん通り」と名付けられ、公共スペースや商店街のあちこちにサザエさんの登場人物がイラストされており、文字通り「サザエさんのまち」として親しまれています(写



春の「さくらまつり」、夏の「ねぶた祭」はどちらもサザエさん通りで行われる商店街の一大イベントです。特にねぶた祭りは関東では最大規模と言われ、大掛かりなねぶたがいくつも繰り出し、サザエさん通り



サザエさん一家の銅像は桜新町駅を中心として全5ヶ所、17体設置されています。長谷川町子美術館の隣にある「サザエさん公園」にもサザエさん一家の銅像が設置され、来園者を温かく迎えています(写真右)。



サザエ タラオ ワカメ カンゾ 波平



昭和60年11月3日、長谷川町子の著作を刊行していた姉妹社の書庫跡地に長谷川町子美術館が開館しました(地図①)。長谷川町子美術館には長谷川町子と姉の長谷川穂子が集めた美術品が展示されている他、「サザエさん」の原画や磯野家ミニチュア、サザエさんのアニメ映像が見られるコーナーがあります。また、フジテレビが毎年夏に開催する『お台場新大陸』との連動企画



昭和21年4月22日～昭和49年2月21日まで夕刊フクニチ→新夕刊→朝日新聞へと連載された「サザエさん」の話数は6,477回にまで及びます。日本の新聞連載漫画としては最大のベストセラーと言えましょう。



■ アクセス (長谷川町子美術館)
東急田園都市線桜新町駅下車徒歩7分



「サザエさん」は長谷川町子とご遺族の意向により、これまでVHSやDVDなど映像ソフトとして一度も発売されたことはありません。



桜新町を歩いて

今年の10月にテレビ放送45年を迎える「サザエさん」ですが、4月19日に『Lien de SAZAE SAN(リアンドゥ・サザエさん)』というカフェがサザエさん通りにオープンしました。サザエさんをモチーフとしたメニューが数多くある中、生はちみつとホイップクリームの入ったパンケーキがオススメとのこと(写真上)。店内はサザエさんの歴史がパネルとして紹介されるなど、サザエさん一色となっています。